

表層・下層とも引き続き「平年並み～やや高め」で推移  
(平成28年10月の海況と今後の予測)

平成28年10月11日  
茨城県水産試験場

1. 本県周辺海域の概況(図1, 10/11現在)

- ・黒潮の流型は、八丈島の南を通過する蛇行型のC型で推移しており、本流は犬吠埼の南東40マイルを北東に流れています。
- ・親潮第一分枝の先端位置は、北緯42度、東経149.5度付近にあり、親潮の面積は平年よりかなり小さめとなっています。また、東北海域の海面水温は「平年よりかなり高め」で推移しています(気象庁10/7発表)。

2. 海洋観測結果(10/4～5:調査船「いばらき丸」)

- ・平面図を図2～4に、鉛直図を図5に示しました(水温, 前月差, 平年差)。
- ・前月と比べると、表層では全域で降温しました。50m～200m深では、犬吠埼定線の一部で昇温しましたが、概ね全域で前月並みか、前月より降温しました。
- ・平年と比べると、表層では全域で「やや高め」となりました。50m～200m深では「平年並み～やや高め」となっています。
- ・沿岸域では込潮(西向き)の潮がみられました。犬吠埼沖では東北東への速い流れが観測されました。

3. 今後1か月の見通し

- ・親潮の勢力は弱く、東北海域の海面水温は引き続き「高め」で推移するでしょう。
- ・黒潮は今後流路を変動し、八丈島の西で蛇行し、八丈島の北を流去するB型に移行する見込みです。茨城県沖には、引き続き暖水の影響が残るとみられます。
- ・1か月後の本県沖の水温は、引き続き「平年並み～やや高め」となる見通しです。

※11月の30年平均(1981-2010)海面水温(東経142度まで)

会瀬:17～19℃台 大洗:17～20℃台 鹿島18～21℃台 犬吠埼:19～22℃台

※詳しい情報は茨城県水産試験場ホームページをご覧ください。

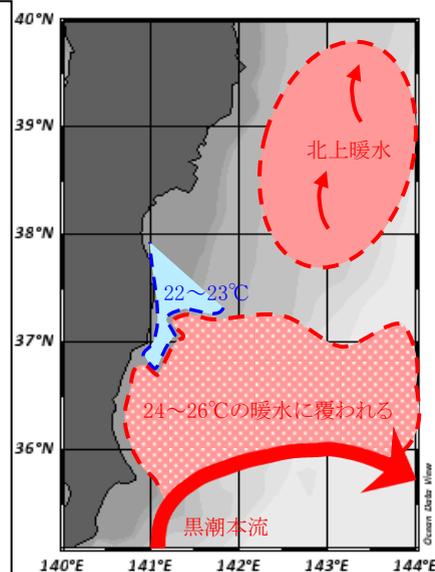
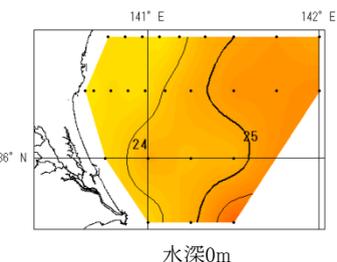
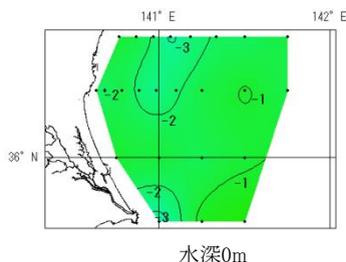


図1. 海況の概要  
(10月8日)

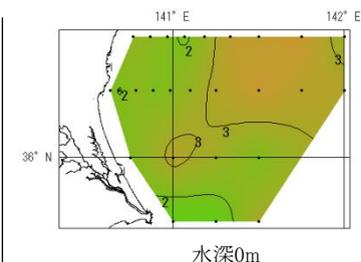
(回遊性資源部 鈴木 裕也)



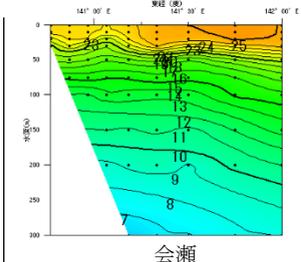
水深0m



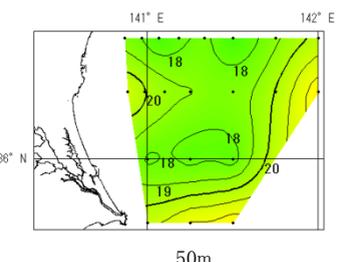
水深0m



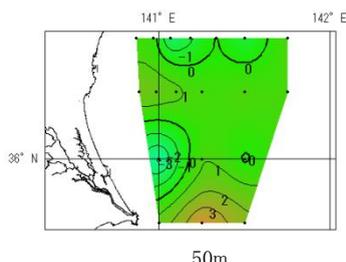
水深0m



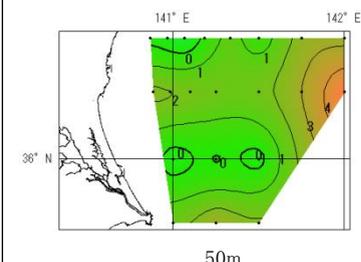
会瀬



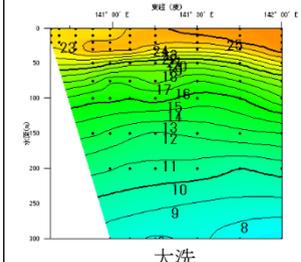
50m



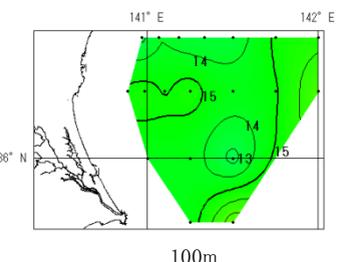
50m



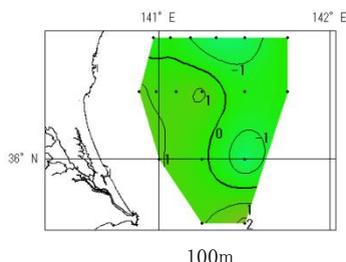
50m



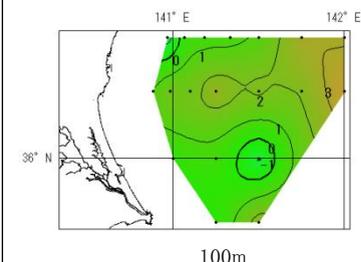
大洗



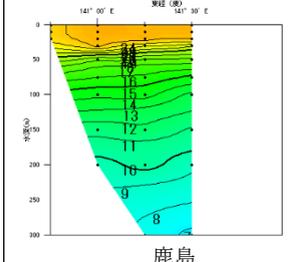
100m



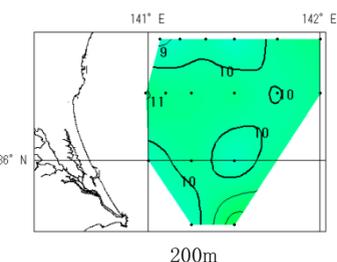
100m



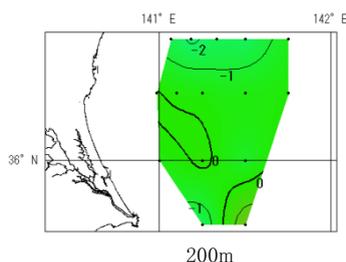
100m



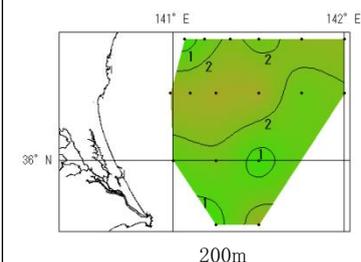
鹿島



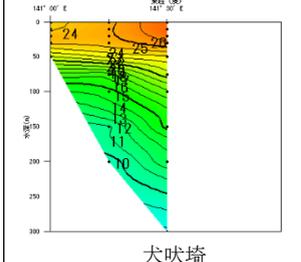
200m



200m



200m



犬吠埼

図2. 層別水温

図3. 水温前月差

図4. 水温平年差

図5. 定線別鉛直水温

[次号予告] H28.10.18発行の「水産の窓」は、「底魚資源調査結果」を予定しています。